

## 障害特性と必要な配慮について

### 視 覚 障 害



#### 主な特性

視覚障害者には、全盲の人、弱視の人、中途失明の人と、いろいろな視覚障害の人がいます。目と耳の両方に障害のある人もいます。

また、歩行にも、白い杖を使う人、<sup>もうどうけん</sup>盲導犬を使う人、ガイドヘルパーに誘導してもらう人とさまざまです。

点字で情報を得る人や、点字を使わず録音メディアなどで情報を得る人もいます。

「目が見えない」ために、日常生活のさまざまな場面で危険や困難なことがあります。適切な援助があれば、自立した生活をおくることができます。

## 必要な配慮

- 点字ブロックの上には、決して物を置かないでください。自転車などがあると大けがをすることがあります。
- 急に、<sup>はくじょう</sup>白杖や手に触れられると不安になりますし、危険です。お手伝いするときは、ひと声かけましょう。
- 「30センチ右」「2歩前」というように位置関係を分かりやすく伝えます。

### 【「白杖SOS シグナル」普及啓発シンボルマーク】

白杖を頭上に掲げている人を見かけたら、声をかけ困っていることなど聞きサポートしてください。



社会福祉法人日本盲人会連合推奨マーク

### 【盲人のための国際シンボルマーク】

視覚障害者のための世界共通のマークです。

視覚障害者の安全やバリアフリーに考慮された建物、設備、機器などに付けられています。

